

アルミニウム合金製
作業台 (SKYS)

コンステップ

取扱説明書



(社) 仮設工業会認定品

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。

ご使用前は、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき事故が起らないよう、内容にしたがって正しくお使い下さい。

また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取りだせるところへ大切に保存して下さい。



- アルミニウム合金製作業台「コンステップ」は、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。

お使いになるときは本製品の安定した状態を確認して下さい。

- この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても、責任を負いかねますのでご了承下さい。

もくじ

表示マークについて	2
各部のなまえ	3
伸縮脚調節の伸縮機能について	4
安全のために、必ず守っていただきたいこと	5
1. 使用条件について	5
2. ご使用になる前に	6
3. 運ぶときは	6
4. 設置する場所について	7
5. 作業台を開閉するとき	8
6. 作業台を設置するとき	8
7. 登り降りや作業をするとき	8
ご使用前の点検（日常点検）	10
1. 目で見て確認	10
2. 伸縮脚と脚調節装置の点検	10
3. 触って点検	11
4. 作業台を開閉して点検	11
5. 手がかり棒の点検	12
設置場所について	12
作業台の使い方	13
1. 使用状態にするときとたたみかた	13
2. 伸縮脚の伸ばしかたと縮めかた	14
3. 登りかた・降りかた・作業のしかた	15
4. 手がかり棒の使い方	15
使用後のお手入れと保管のしかた	16
1. お手入れのしかた	16
2. 保管のしかた	16
故障かな？と思ったら（不調診断）	17

表示マークについて

取扱説明書や製品ラベルに記載されている△マーク付の説明は、安全上とくに重要な項目ですから、必ずお守り下さい。

危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険のあることを示します。

注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れのあることを示します。

※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。

〈絵表示について〉

警告表示の要点が一目で理解できるように、取扱説明書及び警告ラベルの中で絵表示を使用しています。
絵表示には下記の意味があります。

手をはさまないように注意

作業台を開閉するときに、可動部や回転部などで手をはさむ恐れがあることを注意しています。

背面降り禁止

天板から降りるとき、背面降りすると身体が不安定になり、足を踏みはずして転落の恐れがあることを注意しています。

開き止め用ストッパーピンのロックに注意

使用状態にしたとき、開き止め用ストッパーピンが確実にロックされているか確認の注意をしています。

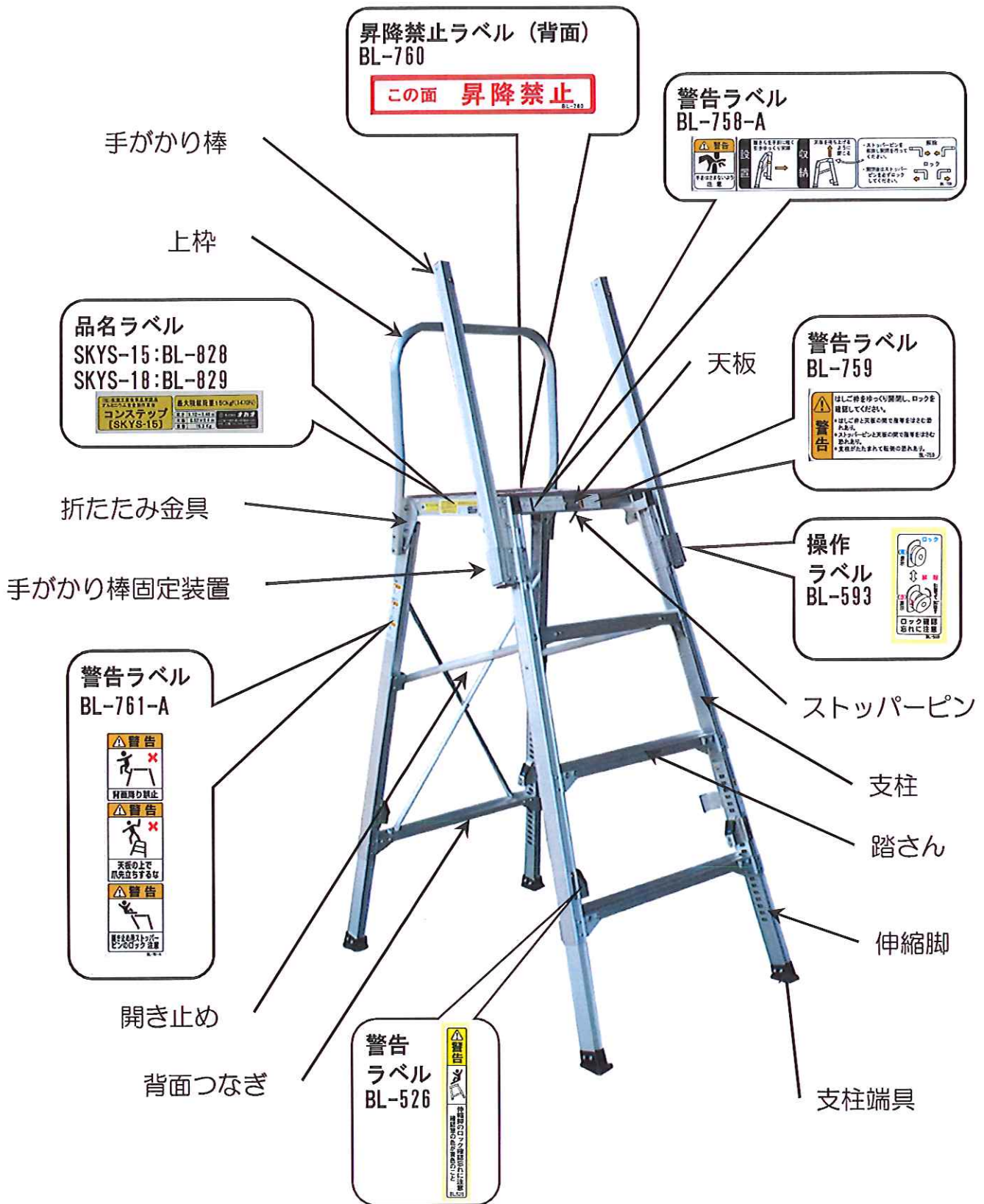
天板の上で爪先立ちするな

天板の上で爪先立ちすると身体のバランスを崩して、転倒する危険があることを注意しています。

伸縮脚のロック確認忘れに注意

伸縮脚をロックしていないと、伸縮脚が縮んで作業台から転落する恐れがあることを注意しています。

各部のなまえ



伸縮脚調節の伸縮機能について

スプリングの押し上げ力によるロックと伸縮脚に荷重が掛かると、荷重分ロックされるダブルロック方式です。

ノブを下に押し下げると、伸縮脚が伸縮できる状態になります。手を離せば自動的にロックされます。

荷重が掛かれば掛かるほど、強く固定される構造になってます。(クサビの原理で噛み合う力が強くなる。)

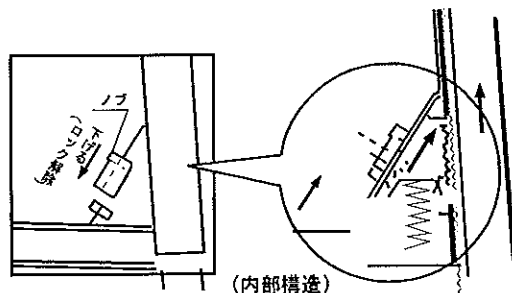
※念のため、ノブをロックした後、伸縮脚が滑らないか確認してからご使用ください。確実にロックされたかどうかわかりやすい色表示でひと目で確認できるよう確認窓を設けました。

赤→ロック解除（伸縮可能）状態を示します。

青→ロックされた状態を示します。

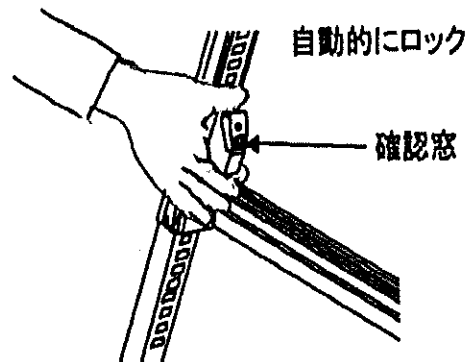
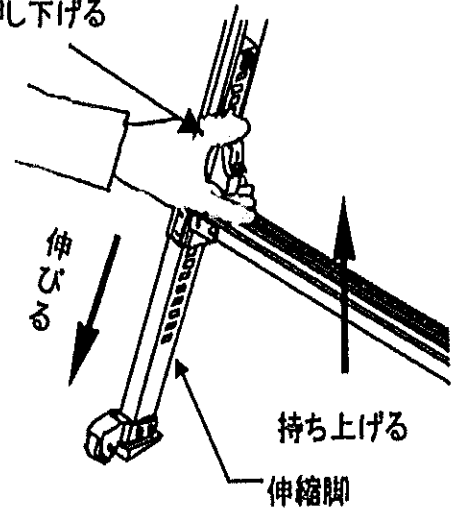
尚、伸縮脚を縮める場合は、荷重がかかっていると作動しない構造になっていますので、伸縮脚を少し浮かせて、ノブ操作を行ってください。

作業床に人及び荷を載せたまま操作をしないでください。必ず、作業床上に何ものっていないことを確認した上で伸縮操作を行ってください。



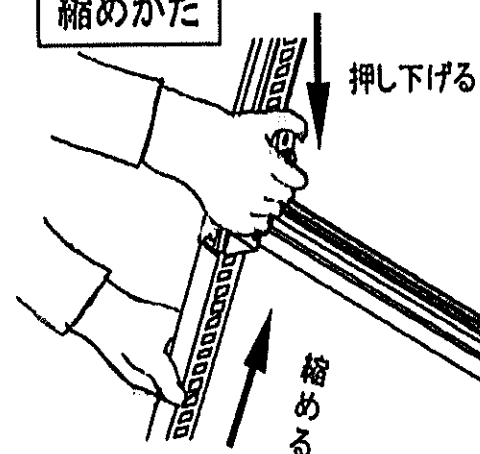
伸ばしかた

ノブを押し下げる



縮めかた

押し下げる



安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について

⚠ 警告 作業台としての用途以外の使いかたをしないで下さい。

この製品は、建築物等の天井または壁面等の作業に使用する為の足場として作られたものです。
使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

⚠ 警告 積載荷重150kgf(1470N)を守って下さい。

体重と荷物の合計重量が積載荷重を超えるときは、使用しないで下さい。
また、荷物は身体の安定が保てる程度の大きさや重さにして下さい。

⚠ 注意 貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないで下さい。

必ず弊社から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。
※ラベルを取り寄せる時は、ラベルのナンバー(3ページ参照)をご覧ください。

⚠ 警告 作業台を加工や改造しないで下さい。

重大事故を起す恐れがあります。

⚠ 注意 作業に適した服装で使ってください。

作業を行う際は、ヘルメット・安全靴等の安全具を着用し、正しい服装(作業服)で作業を行ってください。

⚠ 注意 身体が下記の状態のときは使わないで下さい。

- 疲れているとき
 - 薬やお酒を飲んだとき
 - 病気や妊娠しているとき
 - 身体に異常を感じるとき
- 身体のバランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。



⚠ 注意 お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には使わせないで下さい。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要な事が書かれていますので、内容が理解できない人が使うと危険です。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

2. ご使用になる前に

⚠ 警告 使う前には必ず「ご使用前の点検(10~12ページ)を行い、異常のないことを確認して下さい。

異常のあるときは、絶対に使わないで下さい。
重大な事故につながる恐れがあります。



⚠ 警告 変形した作業台を使わないで下さい。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度が著しく低下します。したがって変形した製品を修正して使用すると、容易に折れたり曲がったりして重大な事故の原因になります。

3. 運ぶときは

⚠ 注意 トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引張らないで下さい。

製品に亀裂が入り、使用中に折れて転落の恐れがあります。



⚠ 注意 持ち運ぶときは、引きずったり投げたり乱暴に扱わないで下さい。

乱暴に扱うと、変形やへこみ、破損の原因になります。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

4. 設置する場所について

⚠ 危険 設置するときや持ち運ぶ時は、配電線に注意して下さい。

この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

⚠ 警告 作業台が安定しない場所には、設置しないで下さい。

設置場所が下記の状態では、作業台が傾いて転倒や転落の恐れがあります。

- 軟らかい地面や床で、作業台が安定しない場所。
- 段差があったり、凸凹があって安定しない場所。
- 作業台がガタツク場所。
- 傾斜している地面や床、屋根の上。
- 積雪している場所。
- その他、安定しない場所。

⚠ 警告 作業台が滑りやすい場所には設置しないで下さい。

設置場所が下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。

- 滑りやすいビニール製の床、タイル、鉄板の上。
- 濡れている地面や床。
- 積雪や凍結している場所。
- 砂、ゴミ、ホコリ、落葉等で滑りやすい地面や床。
- その他、滑りやすい場所。

⚠ 注意 人の出入口やドアの前には設置しないで下さい。

出入りする人や開けたドアで、作業台が倒されて転倒や転落の恐れがあります。

⚠ 注意 雨の中や、風の強い場所には、設置しないで下さい。

濡れた踏さんや天板で滑ったり、強い風を受けて身体のバランスを崩して、転倒や転落の恐れがあります。

⚠ 注意 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないで下さい。

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かない事が原因で、転倒や転落の恐れがあります。

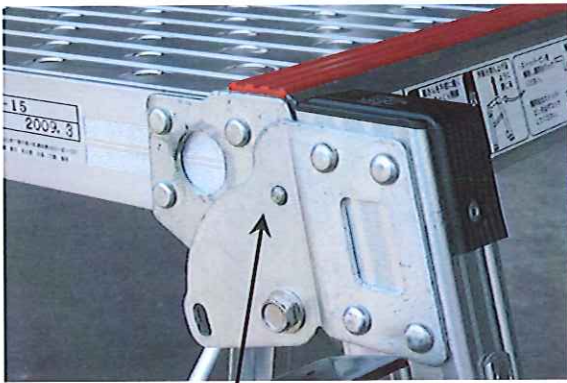
⚠ 警告 作業台の水平を確保し傾斜地での使用は避けて下さい。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

5. 作業台を開閉するとき

⚠ 警告 ストッパーピンが確実にロック部で固定していることを確認して下さい。

ストッパーピンの掛かり具合が不十分で使うと支柱が折りたたまれ、転倒や転落の恐れがあります。



ストッパーピン

⚠ 警告 作業台を開閉するときは、可動部や回転部で、手をはさまないように注意して下さい。

けがをする恐れがあります。

6. 作業台を設置するとき

⚠ 警告 作業台を高くするために支柱にパイプや木等をつないだり、台や箱の上に乗せたりしないで下さい。また、天板の上に箱や椅子等に乗せたりしないで下さい。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して転倒や転落の恐れがあります。

天板が必ず水平となる状態で設置して下さい。また、傾斜地での使用はしないで下さい。

7. 登り降りや作業をするとき

⚠ 警告 同時に2人以上乗らないで下さい。



作業台が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠ 警告 作業台から横に身体を乗り出して、作業をしないで下さい。

身体を乗り出すとバランスを崩して、転倒や転落の恐れがあります。

⚠ 警告 作業台を背にして登り降りしないで下さい。

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

手がかり房を持ち、登り降りして下さい。

安全のために、必ず守っていただきたいこと



警告

局部に荷重をかけないで下さい。



警告

作業台から他への乗り移りは、しないで下さい。



警告

作業中、作業台の上で壁や物を無理に押ししたり、引いたりしないで下さい。



警告

作業台での作業で上ばかりに気をとられて足を踏み外さないようにして下さい。



警告

作業台の上で脚立、はしごを使用しないで下さい。



警告

荷を載せたまま作業台を移動しないで下さい。

無理に押ししたり引いたりすると、反動で作業台が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



警告

静かに登り降りし、天板踏さんから飛び降りたりしないで下さい。



警告

身体の安定が得られないような荷物を持って登り降りしないで下さい。

降りるときは、最下段の踏さんまで使って静かに降りて下さい。

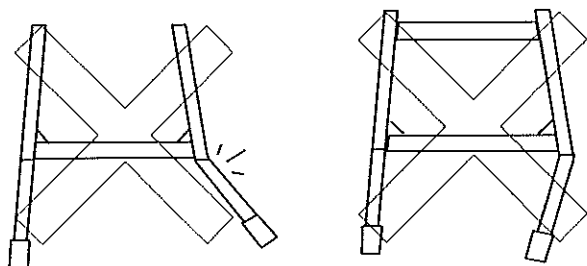
バランスを崩し、転倒や転落の恐れがあります。

ご使用前の点検（日常点検）

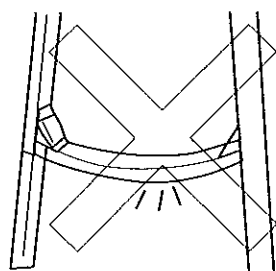
本製品をお使いになる前は、下記の点検を行い異常のないことを確認して下さい。また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用して下さい。

1. 目で見える点検

- ① 踏さん、天板にグリース、油、泥、雪、ペンキ、水等、滑りやすいものが無いか確認し、付いている場合はきれいに拭き取って下さい。
- ② 支柱に曲がり、ネジレ、へこみがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄して下さい。
- ③ 伸縮脚に図のような曲がりがありますか。ある場合は、絶対に使わないでください。



- ④ 踏さんに曲がり、へこみがありますか。ある場合は、絶対に使わないで下さい。



- ⑤ 天板に曲がり、へこみがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄して下さい。
- ⑥ リベット、ねじ、ピン等のゆるみや、抜け落ちがありませんか。ある場合は、使用しないで下さい。
- ⑦ 各部の接合部に割れや著しい腐食がありませんか。また、取付部品の破損、脱落、変形、摩耗、著しい腐食はありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄して下さい。
- ⑧ 支柱端具がすり減ったり、外れていたりしていませんか。ある場合は、絶対に使わないで下さい。必ず弊社までご相談いただき、新しい支柱端具と交換して下さい。

2. 伸縮脚と脚調節装置の点検

- ① 伸縮脚のラック部に泥・ペンキ・モルタルなどがついていないか確認し、ついている場合は完全に取り除いてください。取れない場合は絶対に使わないでください。
- ② 伸縮脚のラック部に凍結や雪で目づまりを起こしていないか確認し、目づまりをしている場合は完全に取り除いてください。取れない場合は絶対に使わないでください。

ご使用前の点検（日常点検）

- ③ 伸縮脚のラック部に割れ・キレツがないか又は、凹んだりしていないか確認し、ある場合は絶対に使わないでください。
- ④ 脚調節装置のノブ操作がスムーズに動くか確認し、動かない場合は絶対に使わないでください。
- ⑤ 伸縮脚がスムーズに動くか確認し、動きが悪い場合は支柱と伸縮脚の間の泥・砂等の異物を完全に除去し、支柱と伸縮脚の間に機械油・潤滑油スプレーを注油してください。それでも動きが悪い場合は絶対に使わないでください。

3. 触って点検

各段の踏さんをねじってみて、ガタガタしていないか点検して下さい。ガタガタしている場合は、絶対に使わないで廃棄して下さい。



4. 作業台を開閉して点検

- ① 作業台をスムーズに開閉できますか。スムーズに開閉できないときは、左右の折たたみ金具に泥やセメント・ゴミ等の噛み込みがないか確認し、あれば取り除いて下さい。
- ② 左右の折たたみ金具のゆるみや、ガタツキがありませんか。ガタツキがあるときは、折りたたみ金具のゆるみや外れが考えられますので、絶対に使わないで廃棄して下さい。



- ③ 左右のストッパーピンが確実にロック部で固定できますか。できないときは、絶対に使わないで廃棄して下さい。




ストッパーピン

ご使用前の点検（日常点検）

5. 手がかり棒の点検

- ① 手がかり棒はスムーズに伸縮できますか。
- ② 手がかり棒固定装置は確実にロックできますか。できない場合は絶対に使わないでください。
- ③ 手がかり棒に曲がり・ネジレ・ヘコミがありませんか。ある場合は絶対に使わないでください。
- ④ リベット・ねじのゆるみ、抜け落ちがありませんか。ある場合は絶対に使わないでください。

設置場所について

- 滑りにくい地面や床、また作業台が埋もれない場所を選んで設置して下さい。
 - 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置して下さい。
 - 作業台の周囲に危険な物がなく、バランスの良い作業姿勢で使える位置に、設置して下さい。
 - 設置後は作業台にガタツキがないか確認し、ある場合は、伸縮脚を調整してガタツキを取り除いて下さい。
(4ページ伸縮脚調節の伸縮機能について)
-  **注意** 人が通行する場所に設置するときは、通行する人がつまずいたりしないよう設置場所に十分注意して下さい。

作業台の使い方

組立手順を厳守しないと死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用状態にするときとたたみかた

〈組み立てるとき〉

- ① 作業台を折りたたんだ状態のまま、立てて下さい。



- ② 最上段の踏さんを一方の手で支え、もう一方の手でストッパーピンのつまみ部を内側によせ、ロックを解除します。



- ③ 最上段の踏さんを手前に引くようにして開きます。



- ⚠ 注意** ストッパーピンが確実にロックされているか確認して下さい。

〈たたむとき〉

- ① ストッパーピンのつまみ部を内側によせ、ロックを解除します。
- ② 天板の手前側を持ち上げるようにしながら、折りたたみます。



- ⚠ 注意** 折りたたんだ時、ストッパーピンがロックされているか確認して下さい。

〈移動のしかた〉

- 移動は引きずらずに、折りたたんで運んで下さい。

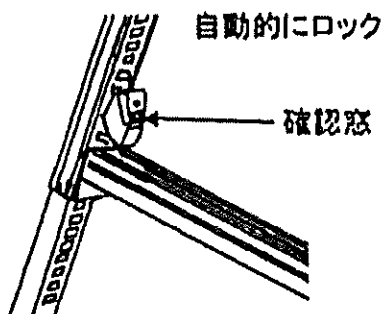


作業台の使い方

2. 伸縮脚の伸ばしかたと縮めかた

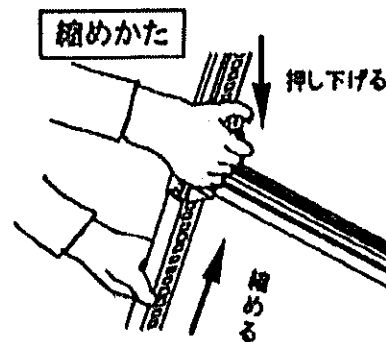
<伸ばしかた>

- ① 脚調節装置をしたから手で少し上に持ち上げます。
- ② ノブを押し下げると、伸縮脚が伸びてきます。
- ③ 長さが良いところでノブより手をはなすと伸縮脚がロックされます。
- ④ そのまま作業台を地面に設置してください。
- ⑤ 作業台の天板が水平に設置されているか、又接地面と作業台にガタツキはないか確認してください。ある場合は①～④を繰り返し調整をしてください。
- ⑥ 最後に目視にて、ノブの確認窓が「青色」になっているか確認してください。



<縮めかた>

- ① 脚調節装置を下から片手で少し上に持ち上げます。
※この時、片側の伸縮脚は地面につけたままで、作業台が倒れないように注意してください。

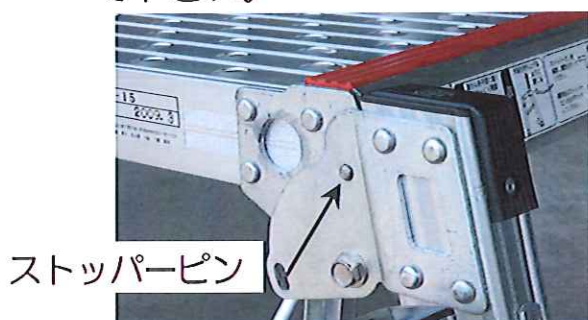


- ② ノブを押し下げ、片手で伸縮脚を持って縮めてください。
- ③ 縮めたところで、ノブより手をはなすと伸縮脚が止まります。
※使った後は、伸縮脚を絶対に縮めてください。支柱がたためなくなったり、また、伸縮脚の破損、曲がりの原因になります。

作業台の使い方

3. 登りかた・降りかた・作業のしかた

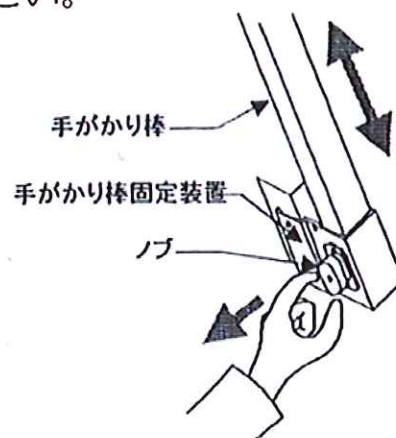
- 登る前に必ずストッパーピンを確実にロックしていることを確認して下さい。



- 安全靴等、滑りにくい履物を履いて下さい。
- 手がかり棒をセットし、身体の前面向を昇降面に向け、手がかり棒を持ちながら慎重に登り降りして下さい。
- 荷物があるときは、背中に背負う等して両手を使えるようにして下さい。
- 降りるときは、1段ずつ踏さんに足をかけ最下段の踏さんまで使って慎重に降りて下さい。
- 作業中に作業台を移動させるときは、作業台から一旦降りてから移動して下さい。

4. 手がかり棒の使い方

- ① 手がかり棒固定装置のノブを引き、90° 回し解除して下さい。
- ② 手がかり棒の底を手で押し上げて下さい。
- ③ 指定の長さでノブを再度90° 戻し、カチッとロックすれば固定します。
- ④ この時「青（固定）」を確認して下さい。



※手がかり棒は昇降時の補助具です。天板の上での作業時に大きな力をかけないでください。手すり代用など、他の目的に使用しないでください。

- ⑤ 収納の際は、組立と逆の手順になります。
※手がかり棒に安全帯をかけないでください。
※手がかり棒に寄りかからないでください。

使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

本製品にとって泥、汚水、セメント、石灰、海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

〈掃除のしかた〉

- ① 汚れは濡れ雑巾などで、きれいに拭き取って下さい。
- ② 汚れが著しい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- ③ 油系の汚れは、クリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないようにきれいに拭き取って下さい。

※ 伸縮脚部と脚調節装置部は特に上記の要領でお手入れください。

⚠ 注意 クリーナーや洗剤をつけたままにしていると、腐食の原因になります。

2. 保管のしかた

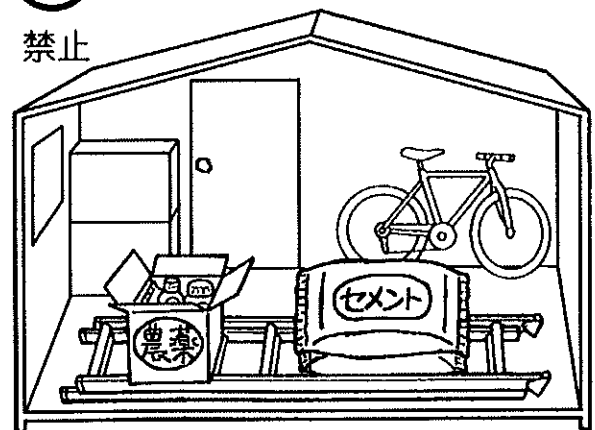
- ① 雨や直射日光の当たらない風通しの良い乾燥した場所を選んで、保管して下さい。
- ② 本製品が濡れている時は、十分に乾燥してから保管して下さい。

⚠ 注意 保管中は、本製品の上に物を置かないで下さい。変形の原因になります。

⚠ 注意 農薬やセメント、石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起して腐食の原因になりますので絶対に置かないで下さい。



禁止



※ 保管するときは伸縮脚を絶対に縮めてください。
支柱がたためなくなったり、又、伸縮脚の破損、曲がりの原因になります。

故障かな？と思ったら（不調診断）

〈現象〉使った時にグラグラする。

点検する箇所	処置のしかた
支柱と踏さんの接合部にゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。
支柱と折たたみ金具の接合部にゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。

〈現象〉ストッパーピンが確実にロックできない。
支柱がスムーズに開閉できない。

点検する箇所	処置のしかた
ストッパーピン、開き止め金具が変形していませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。
ストッパーピン、ロック部の機能がそこなわれるような破損や変形、サビがありませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。
支柱や折たたみ金具に変形がありませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。
折たたみ金具がサビ付いていませんか。	ある場合は回転部に注油して下さい。機能がそこなわれるような著しいサビがある場合には使わないで下さい。

〈現象〉大きくガタガタしている。

点検する箇所	処置のしかた
全体が大きく変形していませんか。	変形している場合は使わないで、廃棄して下さい。
支柱、踏さん及び天板に曲がりへコミなどの変形はありませんか。	ある場合は使わないで、廃棄して下さい。
支柱端具が外れていたり、摩り減ったりしていませんか。	外れていたり、摩り減っていたりしている場合は使わないで、弊社までご相談ください。

故障かな？と思ったら（不調診断）

〈現象〉折りたためない。

点検する箇所	処置のしかた
折たたみ金具の変形、支柱の変形、開き止めの変形は、ありませんか。	変形している場合は使わないで、廃棄して下さい。
ねじ、リベットのゆるみ、変形はありませんか。	変形している場合は使わないで、廃棄して下さい。

〈現象〉伸縮脚が動かない。

点検する箇所	処置のしかた
伸縮脚が曲がっていませんか。	曲がったものは使わないでください。廃棄して下さい。
伸縮脚と支柱の間に泥、砂、ペンキ、モルタル小石が付着していませんか。	異物を完全に取り除き、支柱と伸縮脚の間に機械油・潤滑油スプレーを注入し、それでも動きが悪い場合は廃棄してください。
伸縮脚と支柱の間が凍結していませんか。	

〈現象〉伸縮脚がロックできない。

点検する箇所	処置のしかた
伸縮脚のラック部に泥、砂、ペンキ、モルタル小石が付着していませんか。	ラック部の目づまり（異物）を完全に除去してください。又、取れない悪い場合は使わないで廃棄してください。
伸縮脚のラック部に凍結や雪による目づまりしていませんか。	
伸縮脚のラック形状が欠けたり、かどが磨耗、又は凹んだりしていませんか。	ある場合は使わないでください。廃棄して下さい。

〈現象〉脚調節装置のノブが動かない。

点検する箇所	処置のしかた
脚調節装置部に泥、砂、ペンキ、モルタル、小石がはいりこんでいませんか。	ある場合は異物を完全に取り除き、ブラケットの注油口より、機械油・潤滑油をスプレーしてください。それでも動きが悪い場合は使わないで廃棄してください。



〒750-0322 山口県下関市菊川町檜崎1278-1
TEL:083-287-1231 FAX:083-287-1201
お客様相談窓口（総務室） TEL:083-287-1231
<http://www.k-nakao.co.jp/>

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。

R-628